

[基本教育科目/人間の理解]

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
学習と行動	NLA11_012	選択	2	1	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
前川 真奈美	教員控室	manami.maekawa	Teams 内で受付		
授業の目的・概要	<p><目的> 私たちの日常的な行動には、生後の経験を通じて獲得・変容されたものが多く見られる。このような経験による行動の変容を「学習」という。「学習」について理解を深めることは、自分自身の生活の向上、そして他者へのよりよい支援につながる。本講義では、医療従事者として必要な「学習」に関する心理学・行動科学の知識の習得と、私たちが暮らす社会における教育制度や学習指導の実践についての理解を目的とする。</p> <p><概要> 本講義では、身近な現象を取り上げながら、心理学・行動科学で明らかにされてきた学習理論について解説する。また、グループワークを行い、学習理論が臨床心理学においてどのように応用されているのかについても理解を深める。さらに、実際の教育現場における諸制度や方法論、特別支援教育についても概説する。</p> <p>本講義では、Microsoft Teamsを用いた同時双方向型の遠隔授業を行う。</p>				
学習上の助言	<p>授業内容に関する質問は、授業中およびリアクションシートで受け付ける。積極的に質問して疑問を解決し、理解を深めて欲しい。</p> <p>下記の「授業方法」でグループワークを明記している回以外にも、適宜授業中に学生間の意見交換の場を設ける予定である。積極的な態度で受講することを望む。</p>				
教科書	教科書は指定しない。必要に応じて資料を配付する。				
参考書	<p>学習の心理—行動のメカニズムを探る 第2版/著:実森正子、中島定彦/サイエンス社/2019年</p> <p>はじめてまなぶ行動療法/著:三田村仰/金剛出版/2017年</p> <p>教職ベーシック 発達・学習の心理学 新版/編著:柏崎秀子/北樹出版/2019年</p>				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	基本的な学習理論について理解し、具体例を用いてそれを説明することができる		HSU(1)(2)、NS(1)		
②	様々な問題行動の原因について、学習理論の観点から考察することができる		HSU(2)(3)(5)、NS(3)		
③	自分や他者の行動変容について、学習理論を用いた計画を立てることができる		HSU(2)(3)(5)、NS(3)		
④	『教育』に関して幅広い知識を持ち、その現状と課題を説明することができる		HSU(2)(5)(6)、NS(5)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	オリエンテーション:「学習・行動、教育とは何か?」について学ぶ。	同時双方向型授業	シラバス・配付資料を熟読し、本講義の概要をまとめる。		
2	学習の理論 1-1:古典的条件づけの基本について学ぶ。	同時双方向型授業	古典的条件づけに関する専門用語を覚え、多彩な日常例を説明できるようにする。		
3	学習の理論 1-2:古典的条件づけに影響を及ぼす要因について学ぶ。	同時双方向型授業			
4	学習の理論 2-1:オペラント条件づけの基本について学ぶ。	同時双方向型授業	オペラント条件づけに関する専門用語を覚え、多彩な日常例を説明できるようにする。		
5	学習の理論 2-2:強化スケジュール、反応の形成について学ぶ。	同時双方向型授業			
6	知覚・運動学習について学ぶ。	同時双方向型授業	知覚・運動学習の特徴を整理し、実践例を考える。		
7	社会的学習:模倣、観察について学ぶ。	同時双方向型授業	社会的学習の特徴を整理し、日常例を考える。		
8	学習理論の応用 1:行動療法について学ぶ。	同時双方向型授業	行動療法の特徴を整理し、実践例を考える。		
9	学習理論の応用 2:行動療法を体験する。	同時双方向型授業(グループワーク)	自らの行動変容について計画を立てて実践する。		
10	集団場面における行動について学ぶ。	同時双方向型授業	資料をもとに日常例を考え、専門用語を用いてまとめる。		
11	学習と動機づけについて学ぶ。	同時双方向型授業	資料をもとに日常例を考え、専門用語を用いてまとめる。		
12	学習の発達の観点:成人学習理論について学ぶ。	同時双方向型授業	自らが受けてきた教育、学びを振り返り、講義内容と対応づけて整理する。これからの自分の学びについて客観的に考察する。		
13	学校教育の制度、学習指導の方法、教育評価について学ぶ。	同時双方向型授業			
14	特別支援教育について学ぶ。	同時双方向型授業	特別支援教育の実例を調べる。		
15	これまでの学習の総括を行う。	同時双方向型授業	配付資料をもとに本講義で得た知識・技術を整理する。		
試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照。				

[基本教育科目/人間の理解]

		達成度評価					
総合評価割合(%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		60	0	0	0	40	100
総合力指標	知識・技術力	25	0	0	0	5	30
	思考・推論・創造する力	25	0	0	0	15	40
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	5	5
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	5	5
		10	0	0	0	10	20
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	講義内容の理解度について、学期末に定期試験(記述式および選択式の筆記試験)を実施し評価する。学習理論や教育制度に関する専門用語や定義をただ暗記するのではなく、多様な日常の現象について専門用語を用いて説明できることが高い評価につながる。 なお、この定期試験は対面(大学へ登校)での実施を予定している。				学内掲示および Microsoft Teams を利用して、総評や個別のフィードバックを行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
その他	①	✓	毎回の講義で Teams 上でのリアクションペーパーの提出を求める。リアクションペーパーには講義中に出される課題への解答、および講義内容に対する理解、発見、疑問などのコメントを記述してもらう。内容の妥当性や、問題発見能力を評価する。				次回の冒頭に、課題の総評やコメントへのフィードバックを行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
備 考							
<p>*Microsoft Teams を用いた同時双方向型の遠隔授業を行うため、授業時は通信容量が無制限の Wifi 環境を推奨する。特に、グループワーク等の際にはカメラをオンにしてもらうため、通信容量制限がある場合は通信量に十分に注意してほしい。</p> <p>*今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によって再度シラバスの変更が行われることもある。</p>							